

指定管理者モニタリング評価シート

評価対象年度：平成 30 年度

施設所管課： 厳木市民センター産業・教育 課

1 施設の概要

施設名	唐津市厳木温泉佐用姫の湯	所在地	佐賀県唐津市厳木町牧瀬34-2
設置目的	本施設は、温泉を利用し地域住民の健康及び福祉の増進を図り、憩いと交流の場として親しまれ、かつ、観光及び産業の振興に寄与し、地域の活性化を図ること。		
開館日	毎週火曜日以外	開館時間	・会議室等 午前9時30分から午後9時まで ・浴場 午前10時から午後9時まで

2 施設の利用状況

説 明	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	利用状況の傾向と増減の要因
利用者	48,991 人	46,822 人	48,840 人	46,190 人	近隣施設タクアのオープンにより、集客減が大きい。
	人	人	人	人	
	人	人	人	人	

3 指定管理者の概要

指定管理者	名称	株式会社 創裕			
	所在地	香川県高松市朝日新町17-15			
	代表者	川北 哲			
指定期間		平成 29 年 4 月 1 日 ～ 令和 4 年 3 月 31 日			
指定管理者の業務内容		・佐用姫の湯の利用許可に関する業務 ・佐用姫の湯の施設及び設備の維持管理に関する業務			
事業の実施状況		温浴施設の管理運営 ・舞踊歌謡ショーの開催 ・マッサージ及び整体（テナント）の強化 ・岩盤浴の実施 ・コミック本コーナー新設 ・幼児コーナー新設			
職員の配置状況	常勤 正規職員、フルタイム等	非常勤 嘱託・臨時職員、パート等	常勤の内訳		
	2 人	10 人	店長1名、店長補佐1名 店舗運営・施設管理・自社修繕・シフト管理・社員指導・会計事務・クレーム対応		

4 収支状況

単位：円

	平成30年度 決算額	平成29年度 決算額	増減額
収 入 (a)+(b)+(c)+(d)	57,101,856	57,474,822	-372,966
指定管理料 (a)	19,332,000	19,332,000	0
利用料金収入 (b) ※利用料金制の場合のみ	16,514,220	17,296,480	-782,260
事業収入 (c)	21,135,641	20,342,176	793,465
ベンダー売上	609,264	552,726	56,538
飲食売上	13,325,148	12,765,761	559,387
その他売上	7,201,229	7,023,689	177,540
その他			
その他収入 (d)	119,995	504,166	-384,171
支 出 (e)+(f)+(g)+(h)+(i)	62,759,020	63,970,897	-1,211,877
人件費 (e)	18,757,817	19,959,354	-1,201,537
施設管理費 (f)	29,954,723	30,710,402	-755,679
光熱水費	16,382,629	16,498,695	-116,066
修繕費	263,520	292,896	-29,376
広告宣伝費	227,446	81,490	145,956
委託料（再委託）	2,950,677	2,913,694	36,983
保険料	262,680	264,542	-1,862
事務費	3,722,754	3,558,049	164,705
その他	6,145,017	7,101,036	-956,019
事業費 (g)	14,046,480	13,301,141	745,339
うち自主事業に伴う 経費	13,194,005	12,566,334	627,671
施設使用料 (h)			
その他支出 (i)			
収支	-5,657,164	-6,496,075	838,911
利益配分額			

※ 前年度の報告においては、税抜きの金額を記載していたが、今年度より、税込みの金額を記載。
その他、金額を計上する項目に変更があります。

5 項目別評価

評価項目		自己評価	市の評価
評価の視点			
1 業務の履行状況			
(1) 運営業務（全般）			
①運営管理	条例、協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守しているか。	適	適
	使用料または利用料金の徴収、減免手続き等を適切に行っているか。	適	適
	施設の利用者数、稼働率を適切に管理しているか。	適	適
②人員体制	施設の管理運営に必要な資格、経験等を有する人員が過不足なく配置されているか。	適	適
	従業員の労働条件は適正であるか。	適	適
	従業員の資質向上のための指導、研修等を適切に実施しているか。	A	B
③管理記録	業務日誌等を適切に記録し、保管しているか。	適	適
④連絡調整	協定書等に定めた各種報告書を、期限内に市に提出しているか。	適	適
	市や関係団体等との連絡調整を適切に行っているか。	適	適
⑤危機管理	基本協定に定めるリスク分担に従い、適切な対応を行っているか。	適	適
	緊急時に直ちに措置を講じ、市に報告を行ったか。	適	適
	緊急時の連絡体制、マニュアルを整備し、定期的に研修、訓練等を行っているか。	A	B
⑥個人情報保護	個人情報保護に関する法令等を遵守しているか。	適	適
	施設利用者等の個人情報の漏洩、滅失等の事故防止策を講じているか。	適	適
(2) 維持管理業務			
①維持管理	省エネルギー、省資源など環境への配慮がなされているか。	不適	適
	施設や設備、備品等の保守管理（点検や修繕等）を適切に行っているか。	C	C
	清掃、警備、衛生管理その他施設管理に必要な業務を適切に行っているか。	A	B
②再委託	再委託にあたり、事前に契約方法及び契約事項を市に報告しているか。	適	適
	再委託先からの業務報告を受けるなど、履行状況を適切に管理しているか。	適	適

2 サービスの質			
(1) 運營業務（利用者対応、情報発信等）			
①利用者対応	施設利用者に対して、設備、備品等を適切に提供しているか。	適	適
	施設の利用許可、案内等を迅速かつ適切に対応しているか。	適	適
	施設利用者への言葉使い、態度、服装等、接遇が適切であるか。	適	適
②苦情等対応	要望、苦情等を整理し、遅滞なく市に報告しているか。	適	適
	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応しているか。	A	A
③利用者アンケート	適切な利用者アンケート調査を実施し、その結果が良好であるか。	A	B
	利用者アンケートの結果に基づき、適切な改善策を講じているか。	A	A
④施設の 利用状況	施設の利用者数、稼働率等に関する目標を達成しているか。	C	C
⑤情報発信	利用者の利便性向上のため、ホームページ等の更新、管理を適切に行っているか。	適	適
	各種媒体を利用し、事業、イベントの開催案内等の広報を適切に行っているか。	A	B
(2) 事業実施状況			
①事業実施状況	事業計画に定めた事業を適切に実施しているか。	適	適
	施設の設置目的に沿った自主事業を実施し、市民サービスの向上が図られたか。	A	A
(3) 地域貢献			
①地域貢献	地元雇用を積極的に行っているか。	適	適
	地域の意向に沿った運営や、地域活動への参加・協力を行っているか。	A	B
	地元事業者からの物品調達など、地元を活用した運営がなされているか。	A	B
3 継続性・安定性			
(1) 運營業務（経理事務、予算執行等）			
①経理事務	専用口座、帳簿等を備え、指定管理業務に係る経理区分が明確に整理されているか。	適	適
②予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行しているか。	適	適
③取引状況	取引先等の関係業者との関係は良好であるか。	適	適
(2) 収支状況			
①経費縮減	施設の管理運営に係る経費が縮減されているか。（経費削減に努めているか。）	A	B
②収入増加	収入増加のための取り組みがなされているか。	A	B
③収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当であるか。（目標を達成しているか。）	C	C

※ 上記の評価項目、評価の視点は標準的なものであり、施設の特性に応じて調整（追加、削除）を行うこととする。

6 総括評価及び総合評価

総括評価	1 業務の履行状況	B	指定管理者の管理運営に対する評価・コメント 30年度隣接市に大規模温浴施設が開設し利用者が大幅に減少することが予測された。少しでも利用者を取り込むため、当温泉の特徴である岩盤浴の割引日や子供無料の日の設定、接客マナーの向上等集客力に努力されている。思ったよりの利用者減にはならず、飲食売上が増収（前年比4.3%増）となっている。市内利用者が7割、70歳以上及び障がい者の年間利用者が11,393人（約25%）となっている。高齢者への接遇や機械設備等保守点検についてもまじめに取り組んでもらっている。
	2 サービスの質	B	
	3 継続性・安定性	B	
総合評価		B	